

千葉大学

INFORMATION

入試案内サイト

千葉大学入試案内サイトでは、入試に関する最新情報のほか、大学案内や学部案内など、さまざまな情報を提供しています。また、WEBオープンキャンパスも随時実施しています。詳細は下記QRコードからご確認ください。



個別学力検査では
論理的に思考して記述できるかが鍵

一般選抜では従来通り、大学入学共通テストで基礎学力を、個別学力検査で思考力・判断力を問う方針だ。

千葉大学の個別学力検査は、従来から記述式問題を重視して、論理的に思考し、判断して、それを表現できるかを問うてきた。この方針は2023年度入試においてもまったく変わらない。蓄積した知識を使って、課題解決のために論理的に思考し表現する訓練を積んでほしい。なお、大学入学共通テストの「英語」については、リーディング160点、リスニング40点の200点満点に換算して評価する。

個別学力検査では
外国語検定試験のスコアを利用

個別学力検査における外国語検定試験のスコアについては、2016年に新設された国際教養学部で利用を開始した。その後利用できる学部を拡大し、2023年度入試（前期日程）では文学部の一部と医学部を除く全学部で利用する。スコアは、受験生が令和2年4月1日以降に受験したものを利用できるように定め、複数年にわたる努力を評価できるようにしてある。利用方法は、国際教養学部ではスコアに応じてみなし満点あるいは加点方式で評価するなど、学部によって利用形態が異なるので必ず入学者選抜要項、募集要項で確認してほしい。

総合型選抜での募集人員は
変更なし

2023年度入試では、国際教養学部、文学部（日本・ユーラシア文化コース）、法政経学部（経済学コース）、教育学部、理学部（物理科学、地球科学科）、工学部（デザイン、物質科学、情報工学コース）、園芸学部で総合型選抜を実施する。募集人数や選抜方法は2022年度入試から変更はない。

法政経学部と園芸学部の総合型選抜の一部で、外国語検定試験のスコアを出願資格とする。対象となる外国語検定試験や条件については、必ず入学者選抜要項、募集要項で確認してほしい。

また、理学部の総合型選抜の第2次選抜では総合テストを課し、他の学部では大学入学共通テストの成績を判定材料として基礎学力を評価する。大学入学共通テストの指定教科・科目については、入学者選抜要項、募集要項で確認してほしい。

学校推薦型選抜も
従来通り実施

学校推薦型選抜は、文学部（行動科学、歴史学、国際言語文化学コース）、薬学部薬学科、看護学部の3学部で実施する。薬学部薬学科と看護学部では、大学入学共通テストの成績も判断材料とする。出願資格や選抜方法は学部で異なるので確認してほしい。



副学長
入試センター長
佐藤 智司

期待する受験生像

千葉大学の個別学力検査では、「記述式問題」を重視しています。それは、受験生の論理的思考力を計ることが狙いです。大学は、自己研鑽の場所。学生自らが意欲的に学び、成長するためにあるのです。千葉大学は「つねに、より高きものをめざして」の理念のもと、何事にも誠実に取り組む人材の育成をめざしています。教えられなくても自ら考えて行動できる判断力と論理的思考力を持った人材こそが、卒業後に社会でも輝けるはずです。